

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
小児保健		水野 てる子	講義	2	前期
必修・選択	卒業要件				
	資格要件	保育士資格必修 保健児童ソーシャルワーカー資格必修			
学習目標	<p>保育者として、小児の保健衛生を総合的に学び、実践活動に役立つ基礎的知識を習得する。</p> <p>保育者として、小児を取り巻く社会的背景を学び、成長発達を理解し健やかな育ちの道しるべとなるための知識を習得する。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	小児保健の考え方	保健衛生から小児をみる(小児を取り巻く環境を知る) 母子保健対策			
2	乳幼児の発達と年齢的特徴	生命の誕生 新生児期 出生時の体重と在胎期間 小児の発育発達の原則			
3	乳幼児の発育発達 (発育値と評価)	身長、体重の発育値と評価 体型、発育に影響する要因			
4	乳幼児の身体、生理機能の発達	骨の成長、歯の発育 呼吸循環機能、消化・排泄機能、睡眠、体温機能			
5	乳幼児の運動機能の発達	原始反射 随意運動発現のメカニズム			
6	乳幼児の運動機能発達の段階	運動機能の通過率(チェックリストから)			
7	乳幼児の言葉の発達、情緒の分化	言葉を話す機能とわかる機能 乳幼児期の情緒の特徴			
8	学童期の保健	連動機能、知的能力の発達			
9	小児の生活と養護	生活習慣必要性 生活リズムの確立			
10	小児の生活と養護	食習慣の形成			
11	小児の安全と事故予防	発達段階における事故の特徴			
12	小児の病気と予防	病気の考え方 病気の特徴と注意事項			
13	小児の病気と予防	各症状と対応の仕方			
14	小児の病気と予防	各病気と特徴と対応のしかた 予防方法			
15	障害児、虐待のメカニズム	虐待の早期発見と予防策 発達障害の対応			
参 考 書	子供の保健(理論と実践)〔日本小児医事出版社〕 子どもの病気の地図帳〔講談社〕				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の私語、入眠について継続的傾向が見える場合は、欠席扱いとする。</li> <li>・未発達な乳幼児期の指海者としてふさわしい人格を形成していく努力を怠らないこと。</li> </ul>				
評価の方法と時期	・筆記試験及び授業に対する取り組み方から判断する。				